

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2010-263434(P2010-263434A)
 【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報2010-046
 【出願番号】特願2009-112976(P2009-112976)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)
 H 0 4 N 1/10 (2006.01)
 H 0 4 N 1/107 (2006.01)
 G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A
 H 0 4 N 1/10
 G 0 6 T 1/00 4 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月27日(2012.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明は、原稿台上の原稿を含む原稿台全面を読み取った原稿台画像データから、原稿画像データを得る画像処理装置において、上記原稿台画像データに含まれる複数の画像領域を検出し、上記複数の画像領域を包含する矩形領域を抽出する第1の抽出手段と、上記矩形領域の上辺、下辺、左辺、右辺の4辺をそれぞれ延長して得られる線分を特定する線分特定手段と、上記特定された各線分を含む近傍領域に存在する画素を抽出する第2の抽出手段と、上記矩形領域と上記第2の抽出手段が抽出した画素を包含する矩形領域を上記原稿画像の領域であると決定する決定手段とを有することを特徴とする画像処理装置である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿台上の原稿を含む原稿台全面を読み取った原稿台画像データから、原稿画像データを得る画像処理装置において、

上記原稿台画像データに含まれる複数の画像領域を検出し、上記複数の画像領域を包含する矩形領域を抽出する第1の抽出手段と；

上記矩形領域の上辺、下辺、左辺、右辺の4辺をそれぞれ延長して得られる線分を特定する線分特定手段と；

上記特定された各線分を含む近傍領域に存在する画素を抽出する第2の抽出手段と；

上記矩形領域と上記第2の抽出手段が抽出した画素を包含する矩形領域を上記原稿画像

の領域であると決定する決定手段と；
を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

上記第 2 の抽出手段は、直線状に連続する複数の画素または、上記画素の特徴量と上記第 1 の抽出手段によって抽出された画像領域の特徴量とを比較し、上記画素の特徴量が上記第 1 の抽出手段によって抽出された画像領域の特徴量よりも大きい画素を抽出することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

原稿台上の原稿を含む原稿台全面を読み取った原稿台画像データから、原稿画像データを
得る画像処理装置の画像処理方法において、

上記原稿台画像データに含まれる複数の画像領域を検出し、上記複数の画像領域を包含する
矩形領域を抽出する第 1 の抽出工程と；

上記矩形領域の上辺、下辺、左辺、右辺の 4 辺をそれぞれ延長して得られる線分を特定
する線分特定工程と；

上記特定された各線分を含む近傍領域に存在する画素を抽出する第 2 の抽出工程と；

上記矩形領域と上記第 2 の抽出工程により抽出された画素を包含する矩形領域を上記原
稿画像の領域であると決定する工程と；

を有することを特徴とする画像処理装置の画像処理方法。

【請求項 4】

上記第 2 の抽出工程は、直線状に連続する複数の画素または、上記画素の特徴量と上記第 1 の抽出工程によって抽出された画像領域の特徴量とを比較し、上記画素の特徴量が上記第 1 の抽出工程によって抽出された画像領域の特徴量よりも大きい画素を抽出することを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理方法。

【請求項 5】

請求項 3 または 4 に記載の画像処理方法を実現させるためのプログラム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のプログラムを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。